



留学生事業第一部
留学生事業課 課長
一橋 礼子 さん
Hitotsubashi Reiko

【もっている資格】

中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）

【得意な分野】

人材育成

【得意な言語】

英語

Q 仕事の内容は？

A 行政官向けの大学院留学生をサポート

途上国からの留学生受入支援事業「人材育成奨学計画（JDS）」の統括をしています。若手行政官を対象に18カ国からの留学希望者を選考し、約700名の滞日中の留学生をサポートするほか、4年に一度、留学希望者の人数や専攻分野に関する人材育成のニーズについて現地調査を行います。



留学生受入支援のためにモルディブ政府関係者と協議

Q この業界の魅力は？

A 支援した人たちが活躍する姿を見られる

途上国の未来を担う公務員を対象にした留学生のサポートを行っています。彼らが大学院修了後に学んだことを各国に持ち帰り、具体的な成果を出してくださっていることが、何よりのやりがいです。大臣・大使を務めたり、政策立案や国際会議などで活躍したりしている姿がまぶしいです。

Q この業界を選んだきっかけは？

A 途上国への旅からJICA派遣に

もともと理系の学問や仕事に携わっていましたが、20代の頃に途上国を旅し、困難な現状を目の当たりに。自分にも何かできないかと考え、国際協力機構（JICA）が実施するJICA海外協力隊に入り、サモアで活動したことが大きな転機となって、この業界でのキャリアが始まりました。

Q この組織の魅力は？

A 異文化交流の感動に立ち会える

ある国際交流事業で来日したアジア各国の学生に、ホームステイや文化交流を体験してもらいました。彼らに同行する中で、言葉が通じない家庭や学生同士でも、最後には家族同然に絆が深まっていく現場に立ち会えたのは、本当に感動的でした。JICEにはこのようなプロジェクトが数多くあります。

Q 学生のときにやっておくべきことは？

A バイトや部活、語学や国際協力など全般

大学で学ぶ勉強ももちろん大切ですが、それ以外に役立った社会経験としては、アルバイトやバスケットボールの部活でさまざまな人と出会い、コミュニケーションを深めたことです。一方、語学や国際協力に関わる活動についても、もっと早くから触れておけばよかったと思っています。

Info 組織情報

設立 1977年3月25日
従業員 職員329人
登録コーディネーター1,086人
登録日本語講師646人（2024年4月現在）
本社 〒163-0716
東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
新宿第一生命ビルディング16階
Tel 03-6838-2700
Mail saiyo@jice.org

採用ページは
こちら！



Career Path キャリアパス

JICE 中国支所に期限付職員として入職。青少年向けの国際交流事業を担当。

30歳

大阪府立大学総合科学部卒業後、同大学院理学系研究科を修了。民間企業に研究職として就職後、JICA海外協力隊としてサモアへ派遣。

28歳

JICE 東京本部の正職員として転属。途上国の行政官を対象とした留学生事業を担当。2020年より現職留学生事業課課長に。

38歳

一般財団法人 日本国際協力センター (JICE)



ベトナム人材育成奨学計画（JDS）帰国留学生同窓会の様子

人材育成事業を通して国際協力に貢献する専門機関

日本国際協力センター（JICE）は、「知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズとして、1977年の設立以来、共に学び合い理解を深めながら、未来を担う人材を育成し、平和で豊かな地球社会の実現に寄与してきた。現在は、①国際研修、②留学生受入支援、③国際交流、④多文化共生の4つを柱に、人材育成事業を展開する。そのフィールドは国内のほか、アジア、中東、アフリカ、欧米など、世界中に広がっている。北海道から九州まで6カ所に国内支所を展開するほか、海外は18カ国にプロジェクト事務所を開設している。

多岐にわたる国内外の協力事業

近年は、将来の国造りを期待される途上国の若手行政官らが日本の大学院などで学ぶ「人材育成奨学計画（JDS）」をはじめ、海外から行政官や技術者などを招いて行う専門分野の短期研修、世界各地から青少年を日本へ受け入れ、日本人の青少年を海外に派遣し、相互理解を促進する対日理解促進交流プログラム、また日本で暮らす外国人を対象とした就労支援、日本語教育をはじめとした多文化共生事業が注目を集める。

各事業の展開にあたっては、事前の調査から企画、コンサルテーション、実施・運営、評価・フォローアップまでを一体管理し、対象者の特定課題や日本の経験に関する学びを

促すことで、支援効果の最大化を図っている。

これらの基幹事業以外にも、長年にわたる就労分野の日本語教育事業の経験を集約した教材「はたらくための日本語」を開発・発刊した実績もある。

国際的な視野をもつプロ集団

JICEで求められる人物像は、基礎学力があり、国際社会における多様な価値観を受容でき、かつ国際関係や公共的な仕事に関心をもって、周りと共に仕事を進めながら、困難な状況にあっても前向きに取り組めることだという。折衝力・交渉力だけでなく、企画・創造力や問題解決・判断力も求められる。

新卒・社会人を対象とした「職員」以外にも「期限付職員」、研修監理・通訳・アテンド・留学生支援を現場で担当する「コーディネーター（登録制）」、全国各地の教育現場やオンラインで外国人に日本語指導を行う「日本語講師（登録制）」もホームページで随時募集している。近年は、若手・中堅をターゲットに社会人採用や期限付職員から職員への内部登用を積極的に進めている。

新卒職員応募者に向けて、会社説明会およびOB・OG面談を毎年4月に実施。国際的な人材育成分野に興味のある人は、ぜひチャレンジしてほしい。